

年 組 名前：

浅川兄弟の研究 集大成



浅川伯教、巧兄弟についての研究を本にまとめた深沢
美恵子さん
元山梨英和学院史料室長

元山梨英和学院史料室長の深沢美恵子さん(82)が、日本統治時代の朝鮮半島で緑化や
朝鮮古陶磁の研究に努めた北村市出身の浅川伯教・巧兄弟についてまとめた「韓(カラ)の国に生きた兄
弟を韓の国は忘れない 浅川伯教 浅川巧」を刊行した。私の研究の集大成。2人がいかに生きたかを、
今の時代に改めて知ってほしい」と話している。
(桑原久美子)

元山梨英和学院史料室長が本刊行

「相互理解の姿勢知つて」

深沢さんは約20年前から、2人の朝鮮行きに影響

た。

ライフワークとして浅川兄弟を与えたとされる小宮山清三に宛てた伯教の自筆の手紙で、伯教は朝鮮統治時代の韓国の地図や、伯教と妻たか代の最晩年など数百点を収集し、2人の写真など、収集した資料写真とともに、2人を支えた友人や女性たちについて紹介しき取った成果を一冊にまとめた。

また、2人の根底にはキリスト教信仰があつたと指摘。伯教は朝鮮古陶磁研究、巧は林業育成に力を入れ、朝鮮の人と文化で理解し合おうとした姿勢が「現代の韓国・現在の私たちの共感を生み出しているのではないか」とつづっている。

深沢さんは山梨英和中高の社会科教諭だった2003年、韓国女子教育発祥校である梨花女子高校との姉妹校崎宗司さんと交流しながら研究を進め、渡韓は約50回に上るという。

「戦後80年が過ぎ、日本が韓国を植民地支配していた時代があつたことが忘れられる。その時代に朝鮮の文化を愛し、朝鮮の人たちに好かれた浅川兄弟の生き方を今こそ知つてほしい」と話している。「韓の国に」はA4判カラー160ページ。播磨社刊、2200円。

(2026年1月23日付 山梨日日新聞17面)

問1 元山梨英和学院史料室長の深沢美恵子さんが、本にまとめた「浅川兄弟」は、どこの出身で、何の研究をした兄弟ですか。

出身地: _____ 研究: _____

問2 深沢美恵子さんは、研究を進める中で、どのような資料を収集しましたか。

地図: _____

手紙: _____

写真: _____

問3 深沢さんが、「浅川兄弟」について、研究を始めたきっかけを答えてください。

問4 今、あなたが興味をもって調べたいことを、自由に書き出してください。